

F1は最高のパフォーマンスを発揮するために、ステアリングシフトが常識になった。AMGの最新モデルも、BMWも、いまやパドルシフトが当たり前。レクサスは? ISFには付いているけれど……基本的にはフロアでマニュアルモードをコントロールするのみ。でも SKIPPER のパドルシフターなら、いつでもステアリングシフト付きハイエンドカーに LS はバージョンアップできる。

SKIPPERのレクサスLS 600hLのステアリングを握り、シフトレバーをシーケンシャルモードに入れる。

アクセルを踏みこむと、心地良い加速感が体に伝わってくる。1速から2速、2速から3速……トランプポジションまでシフトアップしている間、SKIPPERのLSは、一度もステアリングから手を離す必要がない。ステアリング裏にある右パドルをカチッ、カチッと操作するだけでいい。シフトダウンの感覚を味わいたければ、左のパドルを操作するだけだ。シフトアップ/ダウンのと

パドルシフトでスタイル&機能アップの融合

きに出がちなタイムラグもまったく感じない。そういえばメルセデスAMGのSクラスには、似たようなパドルがついていた。
とこそで純正のLSではシフトノブを前後に倒してシーケンシャルモードをコントロールする。SKIPPERでは「パドルシフター」という名前の装置を、純正のシーケンシャルモードにリンクさせたのだ。もともと電氣的にシフトコントロールをしているLSのシーケンシャルだから、パドルから信号を出してもシフトチェンジが遅れたりすることはない。むしろ手で操作するパドルシフターのほうが、ムタな動きが

なくて反応は速くなる。その証拠にF1マシンはすっかりパドルシフトになっている。スーパーGTのマシンも、今では主流はパドルシフトだ。「トヨタ系のシーケンシャルモード付のクルマや、電氣的に制御しているマニュアルモードのあるクルマなら、パドルシフターは付けられますよ」SKIPPERが開発したパドルシフターは、他にも装着できる車種がけっこうあるらしい。
ハイエンドセダンや、スポーティに楽しみたいなら、パドルシフトは必需品。設定のないクルマには、ぜひパドルシフターを付けてあげたい。



強いていえば AMG のパドルシフトと雰囲気が似ている SKIPPER のパドルシフター。完成度の高いインテリアのイメージを損なわない。ステアリングに向かって右のパドルがシフトアップ、左のパドルがシフトダウン。

